

民主大宮

NO. 109
2008年 5月
日本共産党大宮支部
電話 (52) 2422
FAX (52) 2471

県から余分な水道水を市町村が買っています そのうえ、霞ヶ浦導水事業でも買おうとしています

—— 霞ヶ浦導水事業は、大宮の水道料金にも関係します ——



那珂川、久慈川は「ア」が日本で一番生育するきれいな川です。那珂川と霞ヶ浦を43kmの導水管で結び水をブランドしよう

「くらしを守れ」「おいしい水を守れ」の世論と運動を

とされているのが霞ヶ浦導水事業（総事業費1900億円）です。那珂川の上流から河口までの7つの漁協が「ア」を守れ」と那

水戸市や小美玉市・茨城県は、全く必要がないのに、水戸市が4742m³/日、小美玉市が200m³/日、茨城県が10000m³/日購入しています。茨城県では「平成9年から18年度までに4億9000万円支払った」と町長が議会でも答弁しています。他の市町村でも余分な水量を買っています。なぜ、こんなムダ

毎日のくらしがますますきびしくなっています。特に水道料金は家計と営業を圧迫しています。水道水は、市町村が確保した川の水（地表水）と地下水によってまかなわれています。確保できない市町村のために県中央広域水道ができました。ところが、市町村が必要としない分まで県が押しつけています。これが高い水道料金の原因です。日本共産党は5月13日、この是正を求め県に申し入れをおこないました。



中央広域水道事業の見直しを求める日本共産党地方議員(5月13日、県庁)

導水事業をやめれば水道料値下げは可能

日本共産党の県議、市町村議の申し入れに県生活衛生課は「市町村から要請がなければ、契約水量（県が市町村に売る水量）は変更する」と回答しました。ところが契約水量を変更すべきです。ところが県はその一方で「霞ヶ浦導水事業は続ける」と回答しています。今こそ余っているのに導水事

業が完成すれば更に21万m³/日も増えることになり、導水事業こそ余分な水を市町村に押しつける原因です。

導水事業と大宮の水道料金

常陸大宮市が県から買っている契約水量は16000m³/日です。17年度決算で7638万円に受水費として支払っています。

金子議員は3月議会での一般質問で、「17年度実績では、年間46万m³買っているが、現在の第1浄水場、第2浄水場、第3浄水場と大場浄水場の水だけで、県の水は必要ないのではないか」と質問しました。

下水道部長は、「県との協定で受水すること」と契約しています。これについては必要があるという認識です」と答弁しました。

金子議員はさらに、「昭和59年に県と結んだ協定で、霞ヶ浦導水事業完成時に受水しなればならない量は82000m³/日です。この受水費が大宮地域の水道料金にこんでもない影響を与えるのではないかと質問しました。

珂川に取水口をつくることに反対して裁判に立ちあがっています。「ア」裁判に勝つための署名活動もおこなっています。自然くらしを守り、おいしく安全な水を守るため「霞ヶ浦導

高齢者差別の医療制度はただちに廃止を

日本共産党

廃止求める理由

- (1) 医療費削減のための高齢者差別法は許されません
- (2) 制度は存続すればするほど、国民を苦しめます
- (3) すべての世代に重い負担と医療切り捨てを押しつける制度です（共産党アピールから）

下水道部長は「完成時ごのようになるか明示されていませんが、関係する市町村で構成している協議会で協議・検討がされるものと考えています」と答えるだけでした。

金子議員は、13日の申し入れに参加しました。この中で「平成23年度に料金を見直す（値上げ）」の話がありました。6月議会も、「この問題を引き続き取りあげます。」

水事業は中止せよ」の世論と運動を広げましょう。日本共産党は全力をつくします。



日本共産党演説会 開かれる

5月25日、田谷たけお共産党県委員長、大内久美子県議会議員を迎えての「日本共産党演説会」が常陸大宮市文化センター小ホールで開かれ、120名が参加しました。



演説会弁士の田谷県委員長(左)と大内県議(右)

日本共産党のホームページが好評です

<http://www.jcp.or.jp/>

日本共産党 検索

携帯用ホームページ

<http://www.jcp.or.jp/i/>

多彩な情報をお届けします。



世界のいまを伝え、新しい社

しんしん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月800円

申込先
金子卓議員
(52)2422



乗合タクシーは
岩瀬・上村で運行

「市民バス」の 3年間長期契約 問題を質問

「利根町が4月から乗合タクシーの運行を開始」「ひたちなか市がデマンド型乗合タクシー導入を検討」との記事が新聞報道されています。

県交通対策室に聞いたところ、3月末現在で県内9市町村が乗合タクシーを運行しています。デマンド型乗合タクシーは県内でも着実に広がっています。共産党の金子卓議員は3月議会一般質問で、「多くの市民の強い要求である、高齢者に優しく便利で効率的な新しい交通方式であるデマンド型交通システムをなぜ採用しなかったのか」と改めて質問しました。



日本共産党・金子卓議員

金子議員はさらに、「市民バスの契約期間が3年間の長期契約になる」と聞いたが、これでは3年間は交通システムの変更はしないということではないかと質問しました。

75歳以上の方の「住民健診」を質問

6月から住民健診が始まりますが、「後期高齢者医療制度」で健康診査の法律上の実施義務は74歳まで、75歳以上は努力義務とされています。

金子議員は健康診査の申し込みを、75歳以上の方に対しては希望をとり、「昨年年度受診した方に受診券を送ります。括弧書きで、受診しなかった方も健診を受けるとは可能です」とした問題を取りあげ、「これでは都合で昨年受診しなかった方はどうしてよいかわかりません。なぜ、このような不親切な書き方をしたのか質問しました。

金子議員は、「3年間、内容が変更されない」ということはありませんと答えました。

よつな表示をしたが、健康診査を除外するといったことでもなく、希望があればぜひ受診をしていただきたいというよつな意味の表示です」と答弁。また、「後期高齢者の健診は義務づけられていませんが、生活習慣病を早期発見するため健康診査は重要なものと考えています。昨年受診されなかった方にも受診していただくよう対応します」と答えました。

金子議員はまた、74歳までの特定健康診査が有料(1000円)となることについて、「特定健診は無料にして、健康診査の大切さを理解してもらうことが大

2008年度 建設事業の概要 (大宮地区)

事業等の概要	事業費(千円)
■一般会計	
カーブミラー取付工事	632
防犯灯設置費	1,103
大宮小放課後児童クラブ室改修工事	2,542
小野地区農道改良工事	11,577
小祝地区農道	3,543
北塩子地区農道舗装工事	1,600
上岩瀬地区農道	21,210
富士見台(上岩瀬)地区農道	8,250
八田地区ため池整備工事	6,800
市道1-7号線(若林)舗装工事	10,000
安全施設設置工事	1,000
随時改良工事	5,000
市道2521号線(下岩瀬)道路舗装工事	7,500
市道2-26号線(上村田)道路改良工事	60,000
市道1-9・10号線(小場)	63,000
市道1-6号線(八田)	90,000
市道2-25号線(西塩子)	10,000
市道3002号線(石沢)	11,000
市道1702号線(久慈岡)	8,500
市道4287号線(小野)	5,000
市道1-8号線(若林)	30,000
市道6936号線(鷹巣)	5,500
市道2692号線(中富)	4,000
改良舗装工事	10,000
小河川護岸工事	4,000
防火水槽解体撤去工事	420
防火水槽新設工事	16,920
防火設備整備工事	218
大宮西小体育館消火栓設備改修工事	1,990
村田小体育館便所	3,780
小学校便所	3,000
一中体育館外壁塗装工事	5,000
大宮中体育館照明等改修工事	8,642
玉川分館便所改修工事	1,491
村石分館駐車場舗装工事	1,796
文化センター大ホール舞台設備改修工事	2,838
市民球場バックスクリーン等塗装工事	5,399
■公共下水道事業特別会計	
公共下水道管渠布設工事	281,900
公共下水道取付管工事	1,000
■公営墓地特別会計	
公営墓地駐車場整備工事	2,751
■農業集落排水偉業特別会計	
岩瀬集落排水管路工事	186,400
岩瀬集落排水処理施設工事	170,000
■上水道事業特別会計	
田子内増圧ポンプ場改修工事	7,000
低区配水池テレメーター交換工事	5,000
配水施設直流電源装置蓄電池交換工事	3,000

*配水管布設工事(195,462千円)は省略しました。

事ではないかと無料にしようとする求めました。

受診券が送られてこない75歳以上の方の健診について先日確認したところ、「突然でも拒みませんが、受付をスムーズにするためできるだけ事前に予約してほしい(か)がやき・5417121)」。保険証を持ってきてほしい」とのことでした。

お気軽にご相談を

(52)2422 金子卓議員

鷹巣原団地からの 通学路の整備を

大賀小通学路の改良の陳情が鷹巣区長が代表者となり署名を添えて1月8日に議会に提出されていますが、それに先立つ昨年の12月19日に市長に同様

の陳情が出されました。

金子議員は、「市長に出された陳情者はルートは特定せず、20年来的課題である原団地からの通学路の整備を求めています。矢数市長にとっても懸案事項であると考えます。市長最後の定例議会でありますので、この通学路整備のための積極的な答弁を期待します」と質問しました。



鷹巣原団地からの山道の通学路

市長は答弁せず建設部長が、「北側斜面は傾斜がきつくと断念したなどこれまでの経過をのべ」区長さんを中心に関係者と十分協議して、ルートを含め検討していきたいと答弁しました。金子議員は、「これまで難しかったのは、子どもたちの通学路と

原団地から1-18号線に出る道路を一緒に解決しようとしたかではないか。1-18号線に出る道路は、答弁のように今後地元関係者と一緒くたにルートを検討するとして、子どもたちの通学路は、これと分けて、急斜面の山道である現在の通学路を先に解決してはどうでしょうか」と通学路に責任を持つ教育委員会の答弁を求めました。

教育次長は、「指摘の通学路は、学校もPTAも改善を望んでいるところです。関係機関と協力をし、できるだけ早く改善に向け努力したいと考えています」と答えました。

■議会に提出された「大賀小学校生徒の通学路改良に関する陳情」は、3月24日全会一致で採択されました。

第2回定例議会は、6月5日に開かれます